

(別表1)

別表1-1 不特定多数の者に対する基本研修(講義)の内容及び時間数

大項目	中項目	時間
1 人間と社会 (1.5時間)	1)介護職員と医療的ケア	0.5
	2)介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1.0
2 保健医療制度とチーム医療 (2.0時間)	1)保健医療に関する制度	1.0
	2)医療的行為に関する法律	0.5
	3)チーム医療と介護職員の連携	0.5
3 安全な療養生活 (4.0時間)	1)喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	2.0
	2)救急蘇生法	2.0
4 清潔保持と感染予防 (2.5時間)	1)感染予防	0.5
	2)職員の感染予防	0.5
	3)療養環境の清潔、消毒法	0.5
	4)滅菌と消毒	1.0
5 健康状態の把握 (3.0時間)	1)身体・精神の健康	1.0
	2)健康状態を知る項目(バイタルサインなど)	1.5
	3)急変状態について	0.5
6 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論 (11時間)	1)呼吸のしくみとはたらき	1.5
	2)いつもと違う呼吸状態	1.0
	3)喀痰吸引とは	1.0
	4)人工呼吸器と吸引	2.0
	5)子どもの吸引について	1.0
	6)吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
	7)呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)	1.0
	8)喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	1.0
	9)急変・事故発生時の対応と事前対策	2.0
7 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 (8.0時間)	1)喀痰吸引で用いる器具・機材とそのしくみ、清潔の保持	1.0
	2)吸引の技術と留意点	5.0
	3)喀痰吸引に伴うケア	1.0
	4)報告及び記録	1.0
8 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論 (10.0時間)	1)消化器系のしくみとはたらき	1.5
	2)消化・吸収とよくある消化器の症状	1.0
	3)経管栄養とは	1.0
	4)注入する内容に関する知識	1.0
	5)経管栄養実施上の留意点	1.0
	6)子どもの経管栄養について	1.0
	7)経管栄養に関する感染と予防	1.0
	8)経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	0.5
	9)経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1.0
	10)急変・事故発生時の対応と事前対策	1.0
9 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説 (8.0時間)	1)経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	1.0
	2)経管栄養の技術と留意点	5.0
	3)経管栄養に必要なケア	1.0
	4)報告及び記録	1.0
合計講義時間数		50.0

(別表 2)

不特定多数の者に対する基本研修（演習）の内容及び回数

別表 2

ケアの種類		実施回数
喀痰吸引	口腔内吸引	5回以上
	鼻腔内吸引	5回以上
	気管カニューレ内部	5回以上
経管栄養	胃ろう又は腸ろう	5回以上
	経鼻	5回以上
救急蘇生法		1回以上

人工呼吸装着者に対する喀痰吸引が必要な場合には、別途実施。

(別表 3)

実地研修の内容及び回数

別表 3-1

ケアの内容	回数
口腔内の喀痰吸引	10回以上
鼻腔内の喀痰吸引	20回以上
気管カニューレ内部の喀痰吸引	20回以上
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20回以上
経鼻経管栄養	20回以上

※上記5行為全てを実施すること。

別表 3-2

ケアの内容	回数
口腔内の喀痰吸引	10回以上
鼻腔内の喀痰吸引	20回以上
気管カニューレ内部の喀痰吸引	20回以上
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20回以上
経鼻経管栄養	20回以上

※上記5行為のうち任意の1～4行為を選択し、実施すること。